

令和2年度経営計画

1. 業務環境

(1) 岐阜市の景気動向

我が国経済は、雇用所得環境の改善が続く中、各種政策の効果もあり、穏やかに回復しているものの、諸外国間の通商問題や中国経済の先行き、英国のEU離脱、中東地域を巡る情勢等の海外経済の影響から、輸出が弱含むなかで、製造業を中心に弱さが一段と増しています。さらに、新型コロナウイルスの感染拡大による経済への影響など新たな懸念材料も見られ、十分注意する必要があります。

こうした中、岐阜市においては、価格競争の激化や民間需要の停滞を経営上の問題点として挙げる企業が依然として多く、製造業では仕入単価の上昇、建設業・サービス業では従業員の確保難や人件費の増加等、市内中小企業・小規模事業者は多くの問題を抱えている状況にあります。

(2) 中小企業・小規模事業者を取り巻く環境

岐阜市の人口は、平成19年に死亡数が出生数を上回る自然減少に転じて以降、減少幅が拡大し、少子高齢化が進んでおり、当協会の利用者数についても、平成29年度末で4,168先、平成30年度末で4,005先、令和2年2月末には3,975先と、近年減少傾向が続いています。

また、岐阜市が実施している中小企業景況調査（令和2年1月調査）の結果によれば、業況判断DIは前回調査時（令和元年7月）より2.3ポイント悪化してマイナス25.5となっており、来期（令和2年1月～6月期見通し）は更に6.1ポイント悪化する見込みとなっています。売上についても、令和元年10月の消費税改定後、「伸びた」とする企業は5.4%で、反対に「減少した」とする企業は42.9%となっていることから、市内中小企業・小規模事業者を取り巻く環境が厳しい状況にあることが伺えます。

2. 業務運営方針

岐阜市内の中小企業・小規模事業者のニーズにあった安定的な資金調達を支援し、事業の発展を促すため、当該中小企業・小規模事業者に対する金融機関の支援方針に着眼し、柔軟に保証付融資とプロパー融資を組み合わせるリスク分担に注力します。また、リスク分担を推進するにあたり、日常的に金融機関との対話を行い連携体制の構築を行います。一方で、地方創生への貢献や地域経済活性化のため、新たに創業しようとする若者や女性、高齢化に伴う事業承継の検討が必要になった経営者についても、効率的な創業支援や事業承継支援に取り組むことが重要です。

こうした認識に基づき、令和2年度は、小規模協会の強みを活かした「かゆいところに手が届く」サービスを展開し、「信頼のある協会」、「特色のある高品質なサービスを提供する協会」、「親切・親身な協会」となるよう努めます。また、業務の取り組みを一層「見える化」「見せる化」する等露出度を高め、市内の中小企業・小規模事業者の振興と地方創生に貢献するため、役職員一丸となって以下の点を本年度の重点課題として実施します。

- (1) 保証部門では、金融機関とのリスク分担に注力し、金融機関との連携・対話を行うことで、中小企業・小規模事業者の実態に則した資金繰りの安定や改善のための金融支援に努めます。
- (2) 経営支援部門では、返済緩和先に対し、金融機関や各種支援機関と連携を図りながら実効性の高い経営改善支援・事業再生支援に努めるとともに、新たに創業しようとする若者や女性に対する創業支援・高齢化に伴う事業承継支援にも注力し地域経済の活性化、地方創生に貢献していきます。
- (3) 期中管理部門では、初期延滞先・事故先に対し、金融機関との連携を密にして情報を収集するとともに定期管理を強化し、小企業・小規模事業者の実態に応じて柔軟に返済緩和等の条件変更を行うことで事故解消並びに代位弁済抑制に努めます。
- (4) 回収部門では、回収部門における基本ポリシーを踏まえ、管理コストを考慮した取り組み・スタンスを取り入れ、効率性を重視した管理・回収の最大化を図ります。
- (5) 保証協会の公的使命や社会的責任を果たすため、コンプライアンス態勢の継続的な強化や反社会的勢力等の排除に努めるとともに、人材育成・広報・広報活動・情報の分析と活用にも注力します。

3. 保証承諾等の見通し

令和2年度の保証承諾等の主要業務数値（見通し）は、以下のとおりです。

項 目	金 額
保 証 承 諾	40,752 百万円
保 証 債 務 残 高	73,875 百万円
代 位 弁 済	1,300 百万円
回 収	450 百万円